Vol.124 2026/11
tag

多賀城発で多賀城着。
ヒト・コト・モノを届けます。

アンケート
誌面づくりの参考にしたいと思いますので、ぜひご協力をお願いします！
・自分たちの団体を取材してほしい
・こんな話題を取り上げてほしい
・ユニークな活動や地域のために頑張っている団体・人を知っている

まちを彩るジャズの調べ
-TAGAJAZZ2026-





TAGAJAZZ Instagram

⬆「ジャズフェスが多賀城で開催されることを誇りに思う」。出演者と来場者の双方から、そんな声が聞かれました

仙台の秋を彩る定禅寺ストリートジャズフェスティバルのタイアップステージ「TAGAJAZZ2026」が、2026年9月12日と13日に初開催されました。市内外の多彩なミュージシャンが出演し、文化センター大ホールのホワイエは、ジャズの響きと来場者の熱気に包まれました。また、世代や立場を超えて感想を語り合う姿も見られ、音楽を通じた新たな交流の場となりました。

運営委員であり多賀城でジャズ喫茶を経営する菊池洋さんには「気軽にジャズに親しみ、その魅力を自然に感じてほしい」という想いがありました。難しい、敷居が高いといったイメージを持たれがちなジャズですが、本来はもっと自由で身近なもの。よくわからなくても、なんだか心地いい、ノリが好き、そんなジャズとの出会いの入口にするため、一方的に音楽を届けるのではなく、市民の皆さんと一緒にイベントを育て、楽しさを共有することを大切にしました。規模は小さくても着実に実績を重ね、毎年継続して開催していくことが目標です。将来的には市内の複数会場を舞台に、青空の下でジャズを楽しめるような場へ発展させていきたいという構想もあります。

古くから東北の文化交流の拠点として栄えてきた歴史を持つ多賀城。現在も市民参加型の音楽祭など、文化活動が盛んに行なわれています。「TAGAJAZZが、仙台をはじめ、ほかの地域から人が訪れる機会となり、歴史的背景や文化施設、再開発の魅力を伝えることが重要」と菊池さんは話します。まちの魅力を広げながら、市民が一体となって文化と音楽に親しむ。そんな多賀城の姿を描きながら、TAGAJAZZは新たな音を紡ぎはじめました。



「楽しい」が防災につながる!?
地域のイベントから育む防災力

自治会・町内会で開催されるまつりやイベント。
実は、こうした「いつもの地域活動」が、防災・減災にもつながる地域づくりの機会になっています。

城南自治会「避難場所に親しむ城南マルシェ」

城南小学校を会場に「城南マルシェ」を開催している城南自治会。公園や集会所ではなく、なぜ小学校なのでしょうか。

城南小学校は、地域の避難場所になっています。子どもが通っている家庭にとっては身近な場所ですが、それ以外の世代にとっては、近くにあっても中に入る機会は意外と少ないもの。そこで、学校に足を運び、避難場所に親しんでもらうことを目的に、会場を小学校にしてイベントを開催しているそうです。

また、城南自治会では、公式LINEを運用していますが、行事予定や自治会だよりだけでなく、地区のハザードマップを確認できるほか、最寄りの避難所情報、災害時に住民がどこへ避難(避難所、在宅避難等)しているのかを把握するための避難状況アンケート体制も構築しています。



⬆2025年に城南小学校で開催した第1回城南マルシェ



⬆公式LINEの登録者に野菜を配布。来場者が気軽に登録できる仕組みを設けることで登録者の増加につなげながら、平時から防災などの自治会情報を届ける工夫をしています



⬆会場には消防団も消防ポンプ車とともに参加。子どもたちはジェットシューターに夢中です。地域を守る消防団を知ることも、いざというときの安心につながります

旭ケ岡町内会「デイキャンプ」

旭ケ岡町内会では、デイキャンプを開催。火おこしや燻製づくりなど、普段はなかなかできない体験を通して、災害時に何ができるかを考えるきっかけをつくっています。



⬆子どもたちと燻製づくりにチャレンジ

高崎自治会「地域文化祭でおにぎりづくり」

高崎自治会の文化祭では、地域のこども食堂と一緒におにぎりづくりを行いました。みんなでたくさんのおにぎりを作る経験は、災害時の炊き出しにもつながります。そして、一緒に作って食べることが、住民同士の「顔の見える関係」をつくります。



⬆ガス釜でご飯を炊き、おにぎりづくり

防災というと、「訓練をしなければ」「備蓄をしなければ」と考えがちですが、普段の地域活動そのものが、いざというときの防災につながります。地域の人が顔を合わせ、地域を知り、楽しみながらつながっていく。その積み重ねが、災害時に支え合う力になるのかもしれません。

＼「たがさぽブログ/自治会・町内会」をチェック／
たがさぽブログに地域活動のヒントがたくさん!

tag・ 「tag(たっぐ)」には、多賀城(tagajo)の頭文字3文字、みんながタッグを組んで地域をつくる、多賀城に新しいタグ(価値)をつける、という意味が込められています。

ホームページ　ブログ

発行：多賀城市市民活動サポートセンター　〒985-0873 宮城県多賀城市中央2丁目25-3　TEL：022-368-7745 / FAX：022-309-3706
発行日：2026年11月1日　編集：NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター